

# Santa Journal

vol.8

21名の新たな仲間とともに  
平成25年度はじまりの刻



辞令 — その手に伝わる使命と責任の重さ



この春より弘前豊徳会の一員となりました。よろしくお願いいたします — 新入職員一同

平成25年4月1日（月）午前7時30分より、7号館1階研修室にて辞令交付式が実施されました。

昨年10月に就任した下山保則理事長より辞令が手渡されることとなった今年度の新入職員は、介護職員17名、看護職員2名、生活相談員1名、機能訓練指導員1名の計21名。皆一様に緊張した面持ちで辞令を受け取っていました。

辞令交付の後、新年度に臨むにあたり、下山理事長より新入職員はじめ会場に参列した職員約200名に向け、訓示がなされました。訓示の中で、下山理事長は職員に対し、日々の業務において常に忘れずに心がけてほしいことを示されました。それらはいずれも、利用者の皆様に満足していただくために不可欠な、とても重要なことばかりでした。

弘前豊徳会職員一同、今年度は理事長の言葉（下記）を常に実践していくよう心がけ、日々の業務に努めてまいります。

- ・心を込めた気持ちの良いあいさつを心がける
- ・当たり前のことを当たり前に行なう
- ・入所や利用を希望される方については他事業所とも連携し、弘前豊徳会全体で、できる限りお力添えできるよう対応する
- ・「恕」の心(思いやり、いたわり)で利用者様に接し、ケアをさせていただく



当団は全22事業所より約200名の職員が集合した

# 介護老人保健施設 改修工事始まる



“サンタホール”も今はひっそりとしています



数か月後どんな風に生まれ変わるのでしょう?



専門棟へは仮設渡り廊下をお通りください

現在、介護老人保健施設サンタハウス弘前では、一部ユニット化のための改修工事が進められています。

今回の工事は、国が推進しており、当法人でも短期入所生活介護（ショートステイ）で既に実践に移っている「ユニットケア」に介護老人保健施設でも対応するためのものです。

介護老人保健施設サンタハウス弘前は、1階部分及び2階部分にそれぞれ一般棟と認知症専門棟が存在していましたが、工事完了後は、1・2階の一般棟であった部分がそれぞれユニット型に生まれ変わります。

ユニット型個室には全室洗面台・トイレが完備されます。また、1・2階いずれも10名前後の2つの生活単位=ユニットに分けられ、アットホームな空間・雰囲気の中で、入所前の生活と連続性のある生活ができるよう配慮したケアを実践してまいります。

工事完了・供用開始は今年の9月を予定しております。

これまで一般棟を利用いただいておりました利用者の皆様には、この工事開始に伴い、有料老人ホームや短期入所生活介護の居室にお移りいただくなどしていただいております。

何卒ご理解ご協力のほど、この場を借りて改めてお願い申し上げます。



## 10号館、始動。

短期入所生活介護サンタハウス弘前 移転と増床

一昨年の秋から工事が進められていた新規施設建物「10号館」が、平成25年3月1日（金）より供用開始されました。

それまで7号館2階及び8号館2階、3階で運営されていた『短期入所生活介護サンタハウス弘前』が、この10号館（2～4階）に移転いたしました。そしてこの移転に伴い定員を50名から10名増の60名になりました。

また、10号館は1階部分にセントラルキッチンが設置され、調理システムの改革が期待されます。

なお、これまで7号館3階に設置されていた法人事務局も、この度10号館5階に移転いたしました。



10号館は敷地に入りそのまま直進し、つきあたりを右折すると7号館左側に見えてきます

住宅型有料老人ホーム



## サンタハウス迎賓館、大幅増床

10号館に短期入所生活介護サンタハウス弘前が移転したことに伴い、これまで8号館4～6階にて定員63名で運営されていた住宅型有料老人ホームサンタハウス迎賓館は、平成25年3月1日より、8号館2・3階部分も合わせ、定員103名となりました。迎賓館はその名が示す通り、上質な設備・生活空間を提供していますが、生活保護受給者等でも対応可能な価格設定の居室もございます。これを機に、施設見学などいかがでしょうか？問い合わせは99-1234（佐藤・田中）まで。

## 研修

平成25年4月27日(土)、新入職員に対し、社会人として、また社会福祉に携わる者として、何が重要であるかについての研修が実施されました。この研修では、下山政徳会長が新入職員に対しお話され、また職員教育研修担当である宮本富樹参与から、社会の基本について講義がなされました。

人は仕事で、読書で、人で磨かれる——死ぬまで勉強です。



### 仕事とは

下山政徳会長は、丹羽宇一郎（元中國大使）の著書「若者のための仕事論」の一節を紹介し、「自分の評価は自分でしてはいけません。仕事のプロを目指して最低でも5年以上は泥にまみれて死にもの狂いで働いて下さい。頑張れば結果はついてきます」と話されました。

### 社会福祉と憲法

二  
十  
五  
条  
また下山会長は「社会福祉の基本となるのは、日本国憲法25条『すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する』生存権であり、介護に携わる皆さん、高齢者の生存権を尊重せねばならない」と話されました。

**和顔愛語** この法人の基本理念は明るい施設・暖かい施設・清潔な施設・安全な施設であり、これを実現するためのモットーとして下山会長は**和顔愛語（わけんあいご）**についてお話になられました。「和顔愛語とは、慈愛のこもった言葉で寄り添い、相手の心を汲み、救いの手を差し伸べるという意味の仏教用語です。皆さんが仕事をする際、絶対に、高齢者の方々にきつい言葉、怒った言葉を使用してはなりません。人ととの大きなつながりは、優しい言葉づかいによって成り立つのです」

### 恕

孔子の言葉に忠恕といいうものがあり、真心や思いやりを表しており、相手の立場になって物事を考える、という意味であります。これは人間として最も大切なことで、恕の心を忘れてはいけません

### これから

話の締めくくりに下山会長は次のように語られました。「これから皆さんには、サンタハウス弘前が県内一、日本一の素晴らしい施設だと言われるようにぜひ頑張ってもらいたい。それがまた自分を幸せにすることにもつながるのですから」

### 社会の基本は「あいさつ」である。



宮本参与が新入職員に伝えたことは、キャリア形成について。技術・知識をアップさせていくことに加え、社会において必要とされるものは何より「人柄」であるとし、さらにその基本は礼儀正しいあいさつであると説かれました。

## 弘前市第二地域包括支援センターが藤野へ移転しました

社会福祉法人弘前豊徳会は、平成19年より『弘前市第二地域包括支援センター』を弘前市より受託し、大川地区にて運営してまいりましたが、この度、地域包括支援センター利用対象者の皆様の利便向上を目的としたしまして、平成25年4月1日（月）、担当区域である弘前市立第二中学校区の中心により近く、バス等が利用しやすい藤野地区へ移転いたしました。

今回の移転に伴い、当センターが更に地域の高齢者の方々に利用しやすく頼られる施設となることを目指し、より一層努力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

なお、移転に伴い電話番号も変更となりました。新住所・電話番号等は以下の通りです。

### 新住所

〒036-8326

弘前市大字藤野二丁目6番地1

※デイサービスセンターきらら弘前入り口  
入って左奥、よこやま整形外科の裏手に  
ございます。

電話：0172-31-3811

FAX：0172-36-2380



有料老人ホームサンタハウス迎賓館で  
行なわれた取材風景 — 有名  
カメラマンと取材対象者の  
ツーショットを  
公開！

写真界の巨匠  
**篠山紀信**先生

「ツル多はげます会」創設者で、約60年毎日  
欠かさず描き続けてきた絵日記が書籍化へ  
**竹浪正造**さん(94)

KISHIN  
MEETS MASAZO

平成25年4月27日(土)、

有料老人ホームサンタハウス迎賓館にお  
住まいの**竹浪正造**さんが「青森県の活力ある高齢者」  
のおひとりとして、東奥日報が平成25年5月15日掲載予  
定の特集記事の取材を受けました。この取材では、写真撮影のために  
当日東京より日本を代表するカメラマンである**篠山紀信**先生が迎賓館まで訪れ、  
正造さんが絵日記を描く様子をカメラに収められていました。

今回取材を受けられた正造さんは「ツル多はげます会」を立ち上げた方で、また60年近く、毎日  
欠かすことなく大学ノートに絵日記をつづってきたことが近年テレビ番組に取り上げられたことから、一昨

年、昨年と  
続けて絵日記が書籍  
化され、ベストセラーに  
もなった94歳にして現役バリバリの「時の人」。

最近では、サンタハウス迎賓館に連日のように  
県内外問わず正造さんへ  
ファンレターが届いています。

篠山先生も正造さんの  
達者ぶりに笑顔で撮影に  
臨んでいました。



絵日記作家と写真家の視線がレンズ越しに交差する瞬間



撮影終了後、満面の笑みでのツーショットが実現

## 介護の資格制度が変わりました

これまで介護の基本的な資格として広く知られていた「ヘルパー2級」(介護員養成研修2級課程)は、平成25年4月1日より「介護職員初任者研修課程」へ移行されました。初任者研修とヘルパー2級の異なる点は「職場実習がなくなったこと」「修了評価(テスト)に合格しないと修了証が授与されない」ことなどが挙げられます。訪問介護員養成研修事業所きらら弘前でも、初任者研修課程の講座を6月10日から開講します。お申し込み、お問い合わせは以下まで。

### 介護職員初任者研修講座(6月講座)

**受講生  
募集中**

定員30名 申込締切日 平成25年6月3日(月)  
講座期間 平成25年6月10日~7月16日  
受講時間 8時50分~16時10分  
受講料 73,000円(教材6,300円[税込]別途必要)  
受講会場 サンタハウス弘前7号館1階 研修室  
(弘前市大字大川字中桜川18番地10)

お問い合わせ先

**0172-99-1255(担当:山根)**

より見やすい、ユニバーサルデザインを目指して  
**紙面構成と基本字体を変更しました**

弘前豊徳会広報誌「サンタジャーナル」は、年齢、性別、障がいの有無  
に関わらず、より見やすく、読みやすい紙面を目指し、今号から、2つの  
要素を変更しました。

まず、これまで縦書きがメインでありつつも横書きと混在だったレイア

今年もみんなで地域美化!

## 春の大清掃

平成25年4月21日(日)午前7時30分より、弘前豊徳会職員ボランティアによる地域環境美化のための清掃活動が行なわれました。「春の大清掃」と題して行われるこの活動は今回で5回目。まだ肌寒い早朝から、当日参加した約100名の職員は大峰川河川敷や大川地区の県道沿いのゴミ拾いに精を出し、軽トラック1台分のゴミを集めました。



大峰川には自転車の車輪も  
捨てられていきました。

ゴミを拾って道がきれいになっていくと、  
自然と笑顔もこぼれますね(#^\_#)

ウトを、横書きに統一することにしました。

そして、本文に用いられる文字には、「ば」「ば」など、  
半濁点・濁点等が誤読しにくい字体として、明朝体には  
「IPAEx 明朝」を、ゴシック体には「Migu」を採用することにしました。

今後も、より見やすい紙面を目指していくので、  
ご意見などございましたら下記までご連絡ください。

社会福祉法人 弘前豊徳会 広報誌 サンタジャーナル

**Santa Journal**

通算第8号

発行日 平成25年4月30日

製作 社会福祉法人 弘前豊徳会

サンタジャーナル編集部

発行責任者 阿保英樹

〒036-8311

青森県弘前市大字大川字中桜川18番地10

TEL 0172-99-1255 FAX 0172-99-1256

URL <http://houtokukai.org/>

Eメール [santa-h@chive.ocn.ne.jp](mailto:santa-h@chive.ocn.ne.jp)